



平成26年度文化庁地域と共働した  
美術館・歴史博物館活動支援事業

山形大学附属博物館 公開シンポジウム

自分たちの生まれ育った地域の歴史や文化を、後世まで確実に伝えていくために「古文書」の確かな保存・管理・調査は欠くべからざるものです。このシンポジウムでは「古文書を未来に伝承するため」の現状と課題を考えていきます。今回のシンポジウムでは、村山地方各地域の古文書の状況や課題を理解し、今、各地域で何が出来るのかを明らかにしたい。

# 山形の 古文書を未来に 伝承するために

part  
2

◆ 第1部 13:00~14:30

参加費 無料  
事前申込 不要

シンポジウム

## 山形の古文書を 未来に伝承するために part2

コーディネーター

三上 喜孝 (国立歴史民俗博物館准教授)

パネリスト

横尾智三郎 (東根市 横尾家古文書所蔵者)  
木村清三郎 (上市市文化財保護審議会副会長)  
中山 秀子 (寒河江市史編纂専門員)  
森谷 圓人 (山形大学プロジェクト教員)

◆ 第2部 14:45~15:30

質疑応答・  
パネリストと一般参加者による意見交換

◆ 二〇一四年 十一月二十九日(土)  
十三時~十五時三十分  
◆ 山形県郷土館 文翔館 議場ホール



主催=山形大学附属博物館 文翔館 山形県郷土館 文翔館 お問合せ=山形大学附属博物館 TEL.023-628-4930  
〒990-8560 山形県山形市小白川町1-4-12(山形大学小白川キャンパス 小白川図書館3階)

# 古文書長屋にて よろずご相談 承り☑。



長屋の住人が井戸端に集まり、四方山話に花を咲かせる……そんなひとときになりたいと願っています。定員・申込み手続きなど一切ご無用。毎週火曜日の午後から、長屋の相談役が皆様からの「古文書に関するよろず相談」を承ります。常駐相談役の手に余る時は大学の関係教員が助太刀いたします。

◆ 家に残る古文書を自分で整理してみたい  
◆ 家にある古文書を家族に負担をかけず保存していききたい

◆ 古文書解読の学習方法について知りたい  
◆ 地域史に興味があるので勉強したい

その他

そんな方々、是非お気軽にお越しください。

【日時】毎週火曜日 十三時～十六時

【場所】山形大学附属博物館

(山形大学小白川キャンパス 小白川図書館三階)

【問合せ】千九〇一八五六〇 山形市小白川町二丁目四の十二

電話 〇三三六二八―四九三〇

E-MAIL [hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)